



12/12 (土)・16 (水)  
13:30~15:30

## 文学講座「向井去来をたどる」開催!



松尾芭蕉の弟子の中でも、特に優れた高弟10人を指す「蕉門十哲(しょうもんじつてつ)」の一人、「向井去来(むかい・きょらい)」を取り上げます。長崎出身の俳諧師ですので、身近に感じられることと思います。2回講座ですが、1回のみ参加も歓迎です!  
★お申し込みは、お電話またはカウンターにてお願いします。



## 図書館カレンダー (11月)

20冊・3週間 借りられます

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 1  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  |
| 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29 | 30 |    |    |    |    |    |

11/3 は特別開館 (10時~17時) です



## 今月の展示

### # 小説

長崎に関する小説  
エッセイはいかが?

### # 実用書

読書案内  
芸術の秋を楽しもう



## 館員おすすめの一冊

『いま、子どもの本が売れる理由』 飯田一史 / 著 (筑摩書房)

『おしりたんてい』、ヨシタケシンスケ、『サバイバル』シリーズ。どこかで聞いたことのある名前ではないでしょうか。これは、近年特に人気のある絵本作家や、子どもの本のシリーズです。「本が売れないといわれる時代に、子どもの本はなぜ売れるのか」。この本は、そんな疑問を持った著者が、戦後から現代までの本を取り巻く施策についてまとめたうえで、近年のヒット作が人気になった理由について分析した内容になっています。この本では、書籍を指す「児童書」だけでなく、雑誌やマンガも含めて「子どもの本」と表現し、子どもが手に取る本の全体像を見渡しながら、人気の理由について考えます。

ところで、みなさんは子どもの頃、どんな本を読んでいたか? 図書館や書店の児童書コーナーを見ると、自分が子どもだった頃とはずいぶん様相が変わったと感じるのではないのでしょうか。子どもの興味は時代に合わせて変わり、子どもの本もそれに合わせて装丁や取り扱うテーマを変えているのがわかると思います。どの本も、子どもに手に取ってもらう工夫がされています。子どもの本を、いまの子どもたちを知るきっかけにしてみるのはいかがでしょうか。(M)



## 新刊紹介



この他にもたくさんあります!  
貸出中の本には予約ができます

|                     |              |            |
|---------------------|--------------|------------|
| 『はじめてのAI』           | 土屋 誠司        | 創元社        |
| 『海からみた日本の古代』        | 門田 誠一        | 吉川弘文館      |
| 『明治維新の意味』           | 北岡 伸一        | 新潮社        |
| 『湯川秀樹日記 1945』       | 湯川 秀樹        | 京都新聞出版センター |
| 『サラリーマンかフリーランスか』    | 山田寛英         | 中央経済社      |
| 『産めないけれど育てたい。』      | 池田 麻里奈・池田 紀行 | KADOKAWA   |
| 『なかよし別居のすすめ』        | 松場 登美        | 小学館        |
| 『避難所に行かない防災の教科書』    | 西野 弘章        | 扶桑社        |
| 『ルポ車上生活』            | NHK スペシャル取材班 | 宝島社        |
| 『おうちでできるヘアカット』      | GARDEN/監修    | 主婦の友社      |
| 『わたしが消える』(小説・ミステリー) | 佐野 広実        | 講談社        |
| 『お誕生会クロニクル』(小説)     | 古内 一絵        | 光文社        |



## 西館日和

日本の四季の美しさを感じる秋、北から紅葉のたよりがとどき始めました。きれいに色づく紅葉の条件は夏の十分な日照時間と適度な雨、秋に昼夜の寒暖差が大きくなることだそうです。9月に大きな台風が通過したので影響が心配ですが、街路樹や公園など身近なところの紅葉が楽しみです。

今年はどこもイベントの中止を余儀なくされ、長い期間チラシやポスターの掲示もできませんでした。図書館も同様に全くイベントが開催できず、みなさんの日常から図書館が忘れ去られていないかととても心配しました。先月、施設の観客動員数などが緩和され、もどおりとはいかないまでも活動を再開したところも多いようです。

西諫早図書館でも感染防止対策をとったうえで、おはなし会や各種講座を開催予定です。どうぞ図書館のホームページや、館内のポスターおよびチラシをご覧ください。まだまだ続く読書の秋、休日はご家族で図書館へおでかけください。

館長 池田